

新方式木質チップボイラーの開発  
(事前評価)

質問

回答

C委員	灰の有効利用法は考えているのでしょうか？	林技センター と検討して対応します。
A委員	100kwでどの程度の面積を暖房できるのですか？	具体的な数値は調査中ですが、目安としては中規模公共施設、例えば幼稚園等での使用を考えています。熱量は90000kcal程です。
	一台当たり、500万円という価格は高いと思うのですが。	重油ボイラーよりは高いのですが、今後コストダウンし、長く使用できる点を目標にしたいと考えております。
D委員	ゴミ処理の問題から、灰の成分検査はどうしているのですか？	自然木材を使用することを想定しており、基本的には無害で問題ありません。
B委員	この事業の位置づけはどうなっていますか？	県の政策プロジェクトとして行っております。
D委員	チップの供給が不足することはないのでしょうか？	チップはペレットに比べて工場の設備が少なくて済みます。よって工場を造るのも短期間ででき、需要の増加にも対応できると考えております。